

財賀寺自然観察会

～真夏の森の不思議発見！～

2004年7月25日(日) 豊川市財賀町 財賀寺境内

○メイン観察会 15:00～17:00

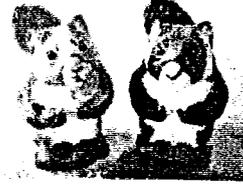
財賀寺の森に住む昆虫の観察。

ヒメハルゼミの大合唱♪

☆サブ観察会 18:30～20:00

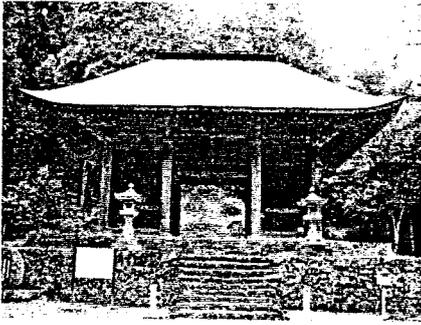
僕たちにも会えるといいね！

夜の森は、どんなかな？



主催：NPO 法人東三河自然観察会

後援：豊川市・豊川市教育委員会

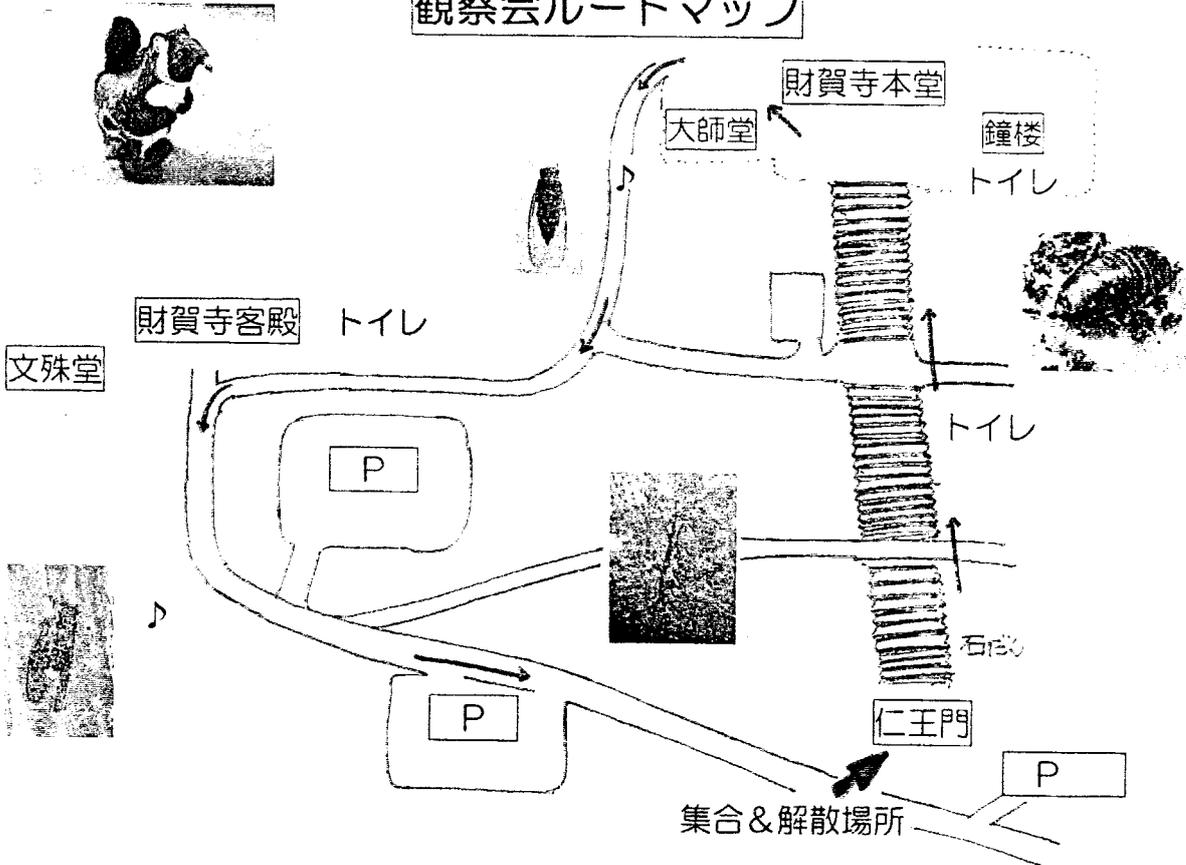


↑ 財賀寺の山門

『陀羅尼山財賀寺』について

『財賀寺』は、神亀元年(西暦724年)に行基が開いたと伝えられる、古い歴史をもつ真言宗のお寺です。寺の入り口を守る仁王様は、東大寺の仁王様より年上だそうで、長い間、奈良に居候をしていましたが、門の修復が終わり、やっと里帰りした『国指定重要文化財』(1980年指定)です。庫裏左手の文殊堂は、知恵を授ける仏様として子どもたちにも親しまれています。

観察会ルートマップ



ムササビの観察

1 準備

- ① 赤いセロファンをはった懐中電灯⇒夜行性動物は赤の色光に鈍感
- ② あれば、双眼鏡⇒巣の確認に便利
- ③ 観察日の日没時間の確認⇒日没後、20～30分で巣から顔を出す

2 ムササビがすんでいる森には

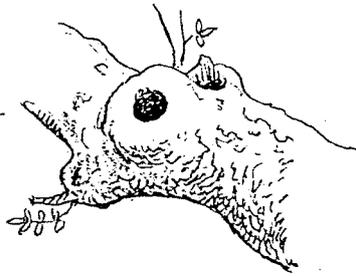
- ① 木に巣穴がある。⇒直径約10cm
建物の板塀に穴があいていることもある。
- ② 食べかす(食痕)がある。⇒切り口が鋭角でなめらか
- ③ 糞が落ちている。⇒正露丸そっくり
- ④ スギに皮はぎの跡がある。⇒スギ皮を巣材として使う

3 観察の手順

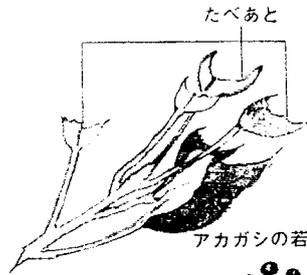
- ① 明るいうちに、観察予定の森を観察し巣の位置、樹木の配置等を頭に入れておきます。
- ② 観察適地(巣から20m程度はなれた場所)で暗くなるのを待ちます。
話し声や音をできるだけたてないようにして、待ちましょう。
- ③ 暗くなり、木肌の模様が見えなくなる頃、ムササビは巣から顔を出します。
- ④ ライトを当てると2つの目がキラッと光ります。
このころ、ギョルル、ギョルルとかグーグーとか鳴いたりします。
- ⑤ 数分後、巣からでて滑空します。
- ⑥ 近くの本で、糞をして餌場の森へ出かけます(観察はここまでです)。
- ⑦ 朝方、夜明け前に巣に戻ります。



▲キツキの穴のあとをひろげたもの

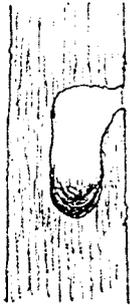


▲▶枝が枯れてぬけ落ちたあとの自然のうろ

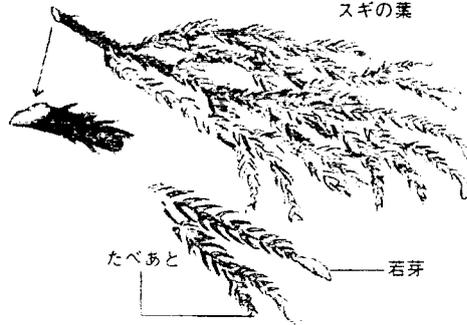


アカガシの若葉

フン



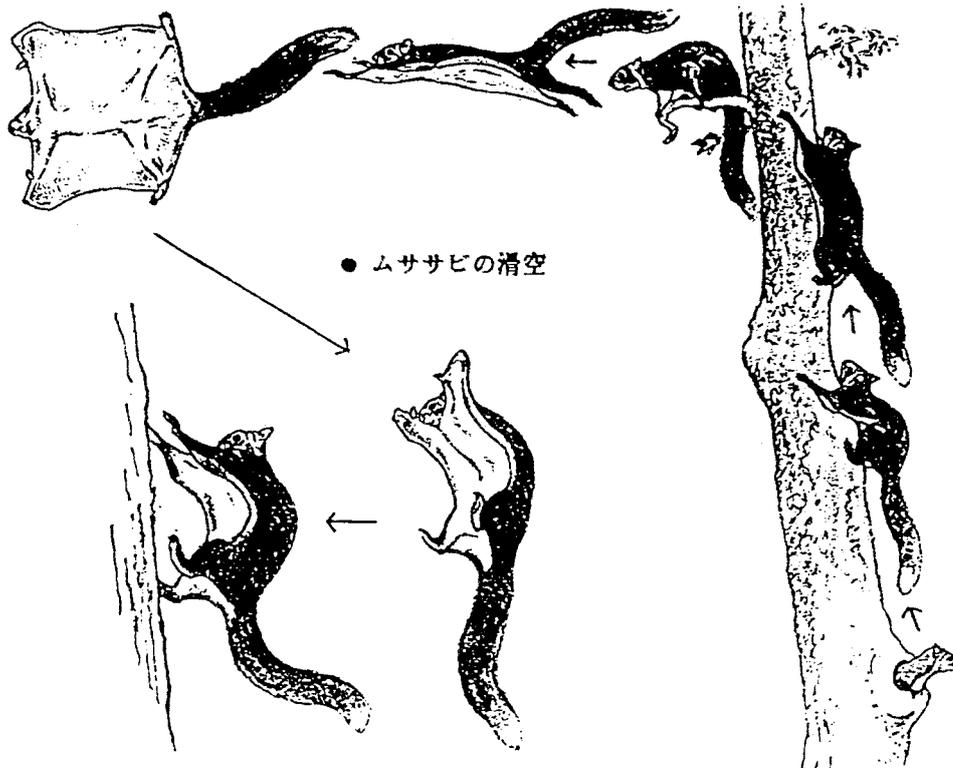
巣穴の中



スギの葉

たべあと

石芽



● ムササビの滑空